

栗原市地震防災マップ

揺れやすさマップ 栗駒地区(1/2)

宮城県沖地震(単独型)の場合

○この揺れやすさマップは、海溝型の地震である宮城県沖地震(単独型)を想定した場合の震度分布を、10のメッシュごとに色で表現しています。

○この地震は、平均すると7年に一度、1978年の宮城県沖地震と同様の規模を規模で同じように繰り返して起きていると考えられています。今後30年間の発生確率は99%といわれています。マグニチュード7.6を想定しています。

○なお、ここに示した震度は、地盤の規模や震源の距離から予想される平均的な揺れの強さです。地震の発生の方角によっては、揺れはこれより強くなり、弱くなる場合があります。

栗駒地区

金成地区

鶯沢地区

一迫地区

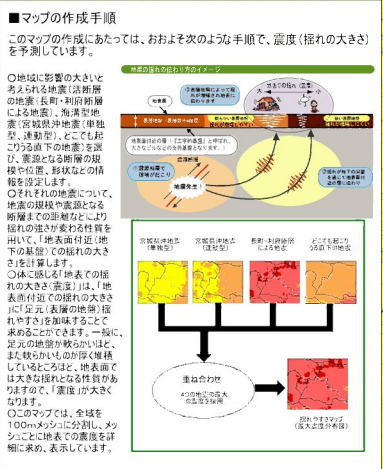
築館地区

■震度の大きさ＝震度とはなにか？

地震が起こったとき、ある場所での揺れの程度を表すのが震度です。

震度の決め方は国によって異なり、わが国では気象庁が定めた気象庁震度によって震度を表しています。従来の気象庁の震度の概念とは異なり、気象庁が定めた気象庁震度は、震度1から震度7までの10段階に設計されました。また、気象庁が発表する震度は、従来の気象庁の震度とは異なる揺れの強さや揺れの被害状況などから判断して発表しているため、震度は従来の震度と異なるように、同一の震度でも揺れの強さや被害状況が異なる場合があります。詳しくは気象庁のホームページをご覧ください。

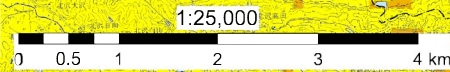
震度	人間	屋内の状況	屋外の状況	木造建築物
1	ほとんど感ぜない。			
2	めったに感ぜないが、気がつく。			
3	めったに感ぜないが、気がつく。揺れを感じる。	室内のものが少し揺れる。		
4	めったに感ぜないが、気がつく。揺れを感じる。	室内のものが揺れる。壁紙が剥がれる。		
5	めったに感ぜないが、気がつく。揺れを感じる。	室内のものが揺れる。壁紙が剥がれる。家具が倒れる。		
6	めったに感ぜないが、気がつく。揺れを感じる。	室内のものが揺れる。壁紙が剥がれる。家具が倒れる。ガラスが割れる。		
7	めったに感ぜないが、気がつく。揺れを感じる。	室内のものが揺れる。壁紙が剥がれる。家具が倒れる。ガラスが割れる。土壁が崩れる。		



凡例

震度

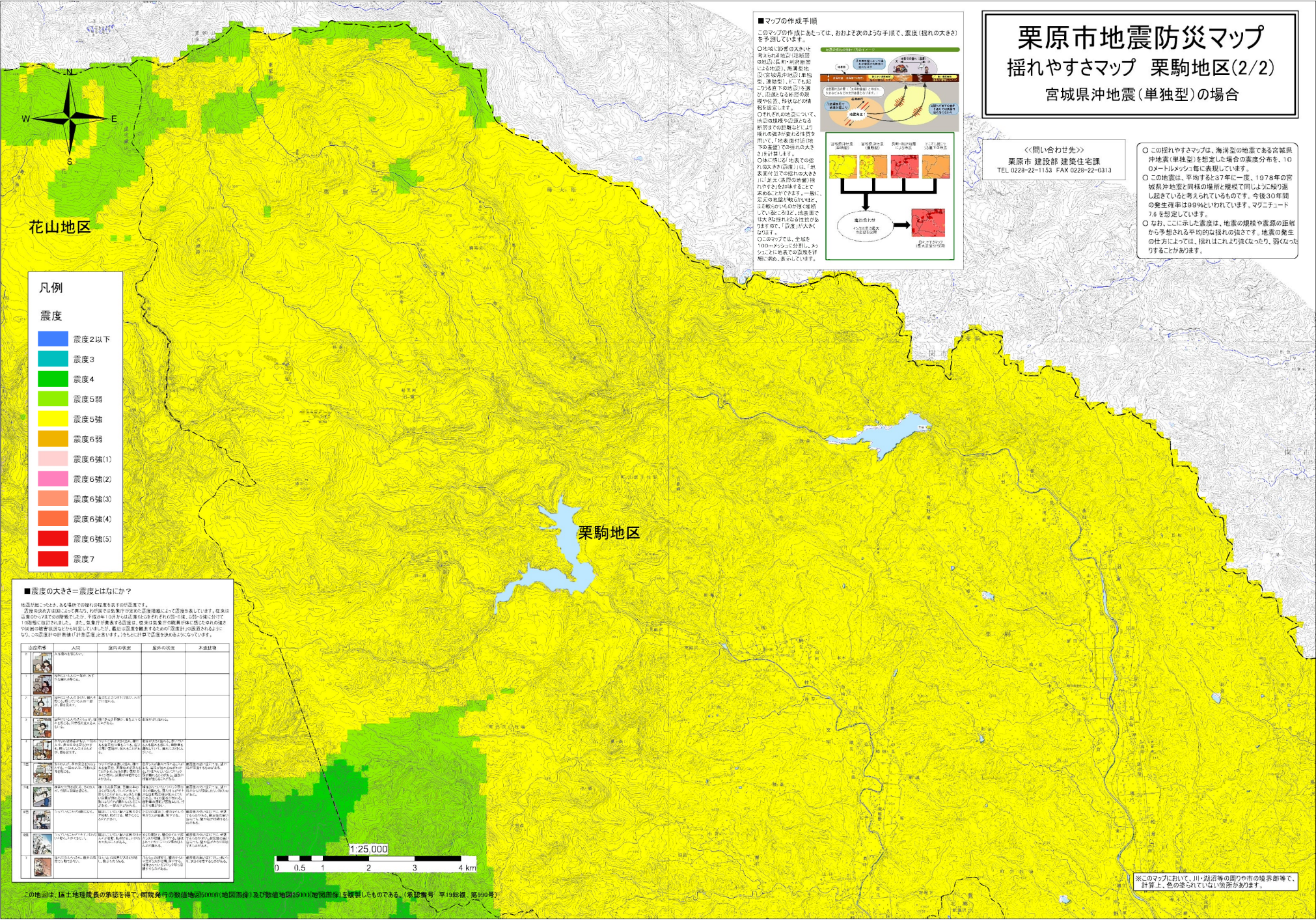
- 震度2以下
- 震度3
- 震度4
- 震度5弱
- 震度5強
- 震度6弱
- 震度6強(1)
- 震度6強(2)
- 震度6強(3)
- 震度6強(4)
- 震度6強(5)
- 震度7



※このマップにおいて、川・湖沼等の限りや市の境界部等で、計算上、色の差がない箇所があります。

お問い合わせ先
 栗原市 建設部 建築住宅課
 TEL 0228-22-1153 FAX 0228-22-0313

この地図は、国土院の委託を受けて、国土地理院の承諾を得て、国土地理院の数字地図9000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平19総研 第990号)



栗原市地震防災マップ

揺れやすさマップ 栗駒地区(2/2)

宮城県沖地震(単独型)の場合

■マップの作成手順

このマップの作成にあたっては、おおむね次のような手順で、震度(揺れの大きさ)を予測しています。

① 各地域における過去の地震による揺れの大きさ、および、地質学的に「揺れやすい」地域、震源型、どの層に揺れやすい(震源の深さ)を調査し、正統なる地質学的な揺れの大きさ、形状などの情報を収集します。

② それぞれの地域について、地質学的な揺れの大きさ、地質学的な揺れの大きさ、地質学的な揺れの大きさから、揺れの大きさを算出します。

③ 算出した揺れの大きさを、地質学的な揺れの大きさ(揺れやすさ)と照らし合わせ、揺れやすさによる揺れの大きさを算出します。

④ 算出した揺れの大きさを、揺れやすさによる揺れの大きさと照らし合わせ、揺れの大きさを算出します。

⑤ 算出した揺れの大きさを、揺れやすさによる揺れの大きさと照らし合わせ、揺れの大きさを算出します。

⑥ 算出した揺れの大きさを、揺れやすさによる揺れの大きさと照らし合わせ、揺れの大きさを算出します。

⑦ 算出した揺れの大きさを、揺れやすさによる揺れの大きさと照らし合わせ、揺れの大きさを算出します。

〓問い合わせ先〓
 栗原市 建設部 建築住宅課
 TEL 0228-22-1153 FAX 0228-22-0313

- 〓この揺れやすさマップは、海溝型の地震である宮城県沖地震(単独型)を想定した場合の震度分布を、100メートルメッシュ毎に表示しています。
- 〓この地震は、平均すると37年に一度、1978年の宮城県沖地震と同様の場所と規模で同じように繰り返し起きていると考えられています。今後30年間の発生確率は99%といわれています。マグニチュード7.8を想定しています。
- 〓なお、ここに示した震度は、地震の規模や震源の距離から予想される平均的な揺れの強さです。地震の発生の仕方によっては、揺れはこれより強くなり、弱くなることもあります。

凡例

震度

震度2以下
震度3
震度4
震度5弱
震度5強
震度6弱
震度6強(1)
震度6強(2)
震度6強(3)
震度6強(4)
震度6強(5)
震度7

■震度の大きさ＝震度とは何か？

地震の揺れの大きさ、および揺れの程度を表すのが震度です。震度の決め方は同じ揺れでも、揺れやすさによって異なります。揺れやすさは、地質学的な揺れやすさ、揺れやすさ、揺れやすさによって異なります。

震度	揺れの状況	揺れやすさ	揺れやすさ
2以下	揺れがほとんど感じられない	揺れやすさなし	
3	揺れが感じられる	揺れやすさなし	
4	揺れがかなり感じられる	揺れやすさなし	
5弱	揺れが激しく感じられる	揺れやすさなし	
5強	揺れが非常に激しく感じられる	揺れやすさなし	
6弱	揺れが非常に激しく感じられる	揺れやすさなし	
6強(1)	揺れが非常に激しく感じられる	揺れやすさなし	
6強(2)	揺れが非常に激しく感じられる	揺れやすさなし	
6強(3)	揺れが非常に激しく感じられる	揺れやすさなし	
6強(4)	揺れが非常に激しく感じられる	揺れやすさなし	
6強(5)	揺れが非常に激しく感じられる	揺れやすさなし	
7	揺れが非常に激しく感じられる	揺れやすさなし	

1 0.5 1 2 3 4 km

※このマップにおいて、川・湖沼等の周りや市の境界線等では、計算上、色が変わらない箇所があります。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、開院発行の数値地図5000(地図画像)及び数値地図2500(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平19総検 第990号)